

学級の雰囲気がすさんできたら？

皆さんにはないかもしれませんが、私は時々次のようなことが気になることがあります。

- ・子ども同士の言葉遣いが荒れている。
- ・けんかがよく起きる。
- ・一部の子どもが教師を何となく避けているような気がする。

今回は、こんなときどうするかという話です。

まず第一に原因はどこにあるのか、考えてみるべきです。

そして、次のようなことが言えます。

99パーセント教師に原因がある。

学級というのは、ご存じの通り「生き物」です。

ですからいいときもあれば悪いときもあるのです。

ただ、学期途中で学級の雰囲気がすさんできたら対応は慎重にすべきです。

一歩間違えると最後まで尾を引くことがあります。(例によって数々の苦い経験による)

教師はついつい厳しく対応したくなります。

しかし、厳しく対応していいのは大ざっぱに言って、学期はじめの子どもたちが担任教師に大いに期待し、子どもにもやる気のあるときです。

学期途中は、厳しく対応しすぎると子どもにそっぽを向けられます。

そこで大事なことは次のことです。

頑張っている子をほめてあげる

そうして、まじめな頑張っている子どもをまとめ、味方に付けるのです。

なあんだ当たり前じゃないかと思われるかもしれませんが、

しかし、私にとってはとても難しいことです。

「頑張っている」です。

頑張っていない子を褒めたり、たまたまうまくいったことを褒めたりすれば最初は効果がありますが、そのうち子どもは教師をバカにし始めます。

「なあんだ、先生ちゃんと見てないじゃない」と。

だから褒めるためには子どもが見えていなきやいけません。

そして、小さな悪いことは無視するのです。

特に運動会時期は、子どもたちはよく頑張っているのです。

ほめてあげるチャンスです。

しかし、逆に疲れてもいます。

注意ばかりすれば、子どもの心は離れていきます。

「先生、またお説教かよ」と。

ついでに付け足しておけば、運動会時期の学級経営のコツのひとつは、1, 2時間目はできるだけ教科指導をきちんとするという事です。このことはいずれまた。